

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

### 【研究課題名】

本邦の集中治療領域に新たな医療の質指標を構築する為の基盤研究  
～人工呼吸器関連事象(Ventilator-associated event: VAE)の臨床展開に向けて～

### 【目的】

現在、集中治療の質を評価する指標はありません。そのため、米国で広く使用されている人工呼吸器関連事象(VAE)という指標を利用することを検討しています。このVAEというのは人工呼吸器の患者さんの肺に起る予防可能な医療行為合併症です。つまり医療の質が悪ければ、それだけVAEが沢山起るだろうと考えられています。しかし、米国で良い指標として使用されているものの、日本の臨床現場でそのまま利用できるかは、その妥当性や実用性を充分検証する必要があります。そこで、この研究では日本の集中治療に新たに医療の質の指標を確立するため、このVAEの日本での妥当性や実用性を分析することを目的としています。

### 【対象】

2020年5月～2021年12月の間に、当院ICUで人工呼吸器を3日以上付けられた12歳以上の方

### 【方法】

診療記録やDPC（診断群分類）より当院研究担当医師が情報を収集し、データシートへ記入します。データシートは電子メールまたは郵送にてデータセンター（三重大学医学部附属病院 救急・集中治療センター）へ送付し保管、解析・集計されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は、特定の個人を識別することができない状態で利用しますので、お名前などの情報が外部に漏れることはありません。

### 【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、身長、体重、疾患名、合併症、手術名、人工呼吸治療の内容、検査結果、入院期間、転帰等）

### 【試料・情報の取得方法】

診療記録、DPCより収集

### 【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2023年6月30日まで

### 【研究代表者】

三重大学医学部附属病院 救急・集中治療センター 今井 寛

### 【共同研究機関】

大阪大学、広島大学、亀田総合病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、大阪市立大学、筑波大学附属病院、京都府立医科大学病院、北海道大学、防衛医科大学校病院、三菱京都病院、藤田医科大学、三井記念病院、静岡県立こども病院、北里大学病院、聖路加国際病院、札幌医科大学等

### 【当院の研究責任者】

横浜市立市民病院 麻酔科 山口 嘉一

### 【試料・情報の提供を行う機関情報】

横浜市立市民病院 病院長 小松 弘一

### 【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号  
電話 045-316-4580（病院代表） 麻酔科 山口 嘉一

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。